安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-4955-0	**版**	10.00
発行日	2024/12/26	**前発行日**	2024/04/24

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ フィネッセ・イット™ フィニッシング コンパウンド 13084

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
研磨材製品

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 研磨材技術部
電話番号 042-779-7995

2. 危険有害性の要約

GHS分類
有害区分に該当しない。

GHSラベル要素
注意喚起語
適用しない。

シンボル
適用しない。

ピクトグラム
適用しない。

その他の有害性
製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	40 - 70
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	11
酸化アルミニウム	1344-28-1	5 - 10
グリセリン	56-81-5	5 - 10
石油精製物	64742-14-9	8.0
鉱油	8042-47-5	2.0
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	0.3 - 0.7

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件

一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。　ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　指定された個人保護具を使用する。

保管
凍結させないこと。　酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5	

			mg/m3	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入性分画）：1mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不活性あるいは有害なダスト	56-81-5	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
鉱物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA（吸入性分画）：5 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
鉱物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA（ミストとして）（８時間）：3 mg/m3	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA（ミストとして）（８時間）：3 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具
特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	白色
臭い	わずかな溶剤臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	8.3 - 9
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	>=93.3 °C［*試験方法：*タグ密閉式］［*詳細：*測定条件：２度間隔での火炎］
蒸発速度	4.4 ［*参照基準：*エーテル＝１］
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	0.8 %
燃焼点（上限）	6 %
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	1 ［*参照基準：*空気＝１］
密度	1 - 1 kg/l
比重	0.98 - 1.01 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	無視できるレベル。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	13,384 mm2/sec
揮発性有機化合物	20.8 重量%［*詳細：*計算値］
揮発分	84.9 重量%［*詳細：*水を含む計算値］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	566.3 g/l［*詳細：*計算値］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
知見はない。

混触危険物質
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製物	経口摂取	ラット	LD50 > 15,000 mg/kg
石油精製物	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
鉱油	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
鉱油	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 5.2 mg/l
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	類似化合物	軽度の刺激
石油精製物	類似化合物	軽度の刺激
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
鉱油	ウサギ	刺激性なし
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	類似化合物	刺激性なし
石油精製物	類似化合物	刺激性なし
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
鉱油	ウサギ	軽度の刺激
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	類似化合	区分に該当しない。

	物	
石油精製物	類似化合物	区分に該当しない。
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。
鉱油	モルモット	区分に該当しない。
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	In vitro	変異原性なし
石油精製物	In vitro	変異原性なし
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
鉱油	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
鉱油	皮膚	マウス	発がん性なし
鉱油	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
鉱油	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
鉱油	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
鉱油	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 ppm	2 世代
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 ppm	2 世代
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 ppm	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
石油精製物	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 筋肉 | 神経系 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6 mg/l	13 週
石油精製物	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6 mg/l	13 週
石油精製物	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.5 mg/l	13 週
石油精製物	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6 mg/l	13 週
石油精製物	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
石油精製物	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 100 mg/kg/day	13 週
石油精製物	経口摂取	造血器系 | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系 | 心臓 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
鉱油	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
鉱油	経口摂取	肝臓 | 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	誤えん有害性
石油精製物	誤えん有害性
鉱油	誤えん有害性
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	該当なし	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	LL50	8.2 mg/l
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	7.9 mg/l
軽質芳香族石油ソルベント	64742-95-6	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	3.2 mg/l

ナフサ						
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	0.22 mg/l
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEL	2.6 mg/l
石油精製物	64742-14-9	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
石油精製物	64742-14-9	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
石油精製物	64742-14-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
石油精製物	64742-14-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ニジマス	実験	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	100 mg/l
鉱油	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
鉱油	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
鉱油	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
鉱油	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 %BOD/COD	OECD 301F
石油精製物	64742-14-9	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	69 %BOD/ThOD	OECD 301F
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	80% %BOD/ThOD	OECD 301F
鉱油	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル

酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.75	OECD 107類似法
軽質芳香族石油ソルベントナフサ	64742-95-6	推定値 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	598	OECD305-生体濃縮度試験
石油精製物	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
鉱油	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
本製品に含まれる石油留分(鉱油等)は令和4年厚生労働省告示第371号のがん原性物質に該当しない

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
石油精製物	石油ナフサ	該当	該当	該当
水素化重質石油ナフサ	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当	該当
鉱油	鉱油	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。